

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月6日		記入者	近藤 幸雄	連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	教育総務部		課名	相模湖教育課	課長名	深澤和則
平成19年度部名	教育環境部		課名	相模湖教育課	課長名	深澤和則
事務事業名	地域婦人団体育成事業					
予算上の事務事業名	地域婦人団体育成費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15120		
基本目標	I「学びあいたたかかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					
施策名	第2施策 生涯学習活動の支援					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 相模原市補助金等に関わる予算執行に関する規則						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)			5 事業開始年度	平成18年度 ▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象 (誰、何)	
地域における女性の活動の活発化を図る。					女性団体(2団体)	
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。 美化活動や研修会の実施、公民館祭り、文化祭等への参画						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	40	40	40	
一般財源	0	0	40	40	40	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	49	49	49	
事業コスト合計	0	0	89	89	89	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	地域婦人団体育成費			対象名称 と単位	負担金、補助及び交付金	
年 度		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	40	40	40	
対 象 数	0	0	2	2	2	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	20,000	20,000	20,000	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.00	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容 (活動) を数値化したもの						

指標名と単位	事業への延参加人数	指標式と指標の説明	活動回数×参加会員数×2団体		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	200.0		
目標	0.0	0.0	210.0	210.0	210.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	95.2		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	1団体当たり会員増加割合(%)	指標式と指標の説明	前年度会員数÷今年度会員数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	60.0		
目標	0.0	0.0	65.0	65.0	65.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	92.3		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]:良好な状態を維持する事業				
	[★★★]:概ね良好な状況である事業				
	[★★]:見直しを行う必要がある事業				
	[★]:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		女性の活動の場の拡大に貢献している団体に対する助成として意義がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策 女性の活動の活発化に向け補助の仕方の見直しを図る。			1.5 課題として認識されたこと 団体活動の成果をどのように評価するか。また、事業への補助に見直しを図る必要がある。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			